

**製品名: ERK 3 (リン酸化 Ser189) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04635**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAPK6
別名	MAPK6; ERK3; PRKM6; Mitogen-activated protein kinase 6; MAP kinase 6; MAPK 6; Extracellular signal-regulated kinase 3; ERK-3; MAP kinase isoform p97; p97-MAPK
遺伝子 ID	5597.0
SwissProt ID	Q16659
免疫原	抗血清は、Ser189 のリン酸化部位周辺のヒト ERK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 155-204

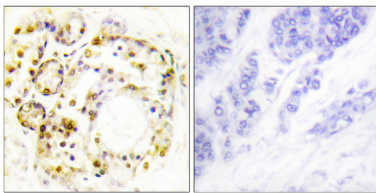
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属し、マイトジェン活性化タンパク質キナーゼ (MAP キナーゼ) に最も近縁です。MAP キナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) としても知られ、タンパク質リン酸化カスケードを介して活性化され、複数の生化学的シグナルの集積点として機能します。このキナーゼは核内に局在し、線維芽細胞において血清またはホルボールエステル処理によって活性化されることが報告されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:  $ATP + \text{タンパク質} = ADP + \text{リン酸化タンパク質}$ 。補因子: マグネシウム。ドメイン: TXY モチーフには、リン酸化によって MAP キナーゼが活性化されるスレオニンおよびチロシン残基が含まれています。酵素調節: スレオニンおよびチロシンのリン酸化によって活性化されます。機能: 微小管関連タンパク質 2 (MAP2) をリン酸化します。細胞周期の開始を促進する可能性があります。PTM: Thr-626 および Tyr-628 が二重にリン酸化され、酵素を活性化します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼサブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。組織特異性: 骨格筋で最も高く、次いで脳で多く発現しています。心臓、胎盤、肺、肝臓、膵臓、腎臓、皮膚の線維芽細胞にも含まれています。

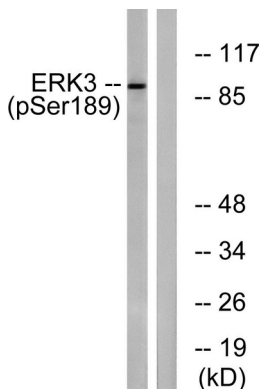
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



ERK3 (リン酸化 Ser189) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



ERK3 (リン酸化 Ser189) 抗体を用いたマウス脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。